



納涼会 開催 参加者 74名

市内在住の早大新入学生を招待

早稲田祭運営スタッフの学生および近隣稲門会の皆さんも参加

樽生ビールで暑気払い 会員の懇親を深める

今年の夏は猛暑が続き、ロンドン五輪の連日の熱戦ではらはらどきどきの日々を過ごし寝不足の方も多かったのではないかと思います。9月を迎えましたが会員の皆様にはこの残暑を如何お過ごしでしょうか？

今年も恒例の納涼会が8月4日（土）東村山駅サンパルネ・コンベンションホールで開催されました。今春、晴れて早稲田大学に入学した市内在住の新入生を招待、5名の学生が参加しました。また近隣稲門会から6名の方に来賓として出席頂きました。そして例年通り早稲田祭運営スタッフの学生3名も参加しました。

会場には、大内幹事の制作による早稲田大学学生・卒業生のオリンピック11名の紹介が大型パネルに掲示され、雰囲気演出しました。

会の初めに小亀会長から厳しい猛暑が続く中、納涼会に参加頂き有り難うございました。東村山稲門会も設立16年目を迎え、今年も新たに2つの同好会がスタートしました。同好会は稲門会の原点ですから、これからも皆さんの協力で充実させていきたい。我が国は内外に問題山積で大変な状況ですが、今日は早稲田の仲間たちと楽しい時間を過ごしましょうとの挨拶がありました。

続いて、近隣稲門会来賓の紹介と挨拶、新入生の紹介、早稲田祭運営スタッフから支援のお願いがありました。

懇親会は、長老の久世大先輩の乾杯の発声で始まりました。オリンピックの展開状況、同好会仲間の情報あれこれ等、樽生ビール、ワイン、冷酒を飲みながら歓談の輪が広がりました。

今回はアトラクションとして新入学生お母さん（渡部まゆみ様）のクラリネット演奏があり、大きな拍手を受けました。當摩彰子副会長との二重奏も大変素敵でした。最後に当会会員（応援部 OB）小森敏孝さんの指揮、音楽同好会井手巖さんのハーモニカ伴奏で校歌を高らかに歌いました。閉会の挨拶で當摩副会長から参加者への謝辞、学生への激励を述べた後、懇親会で配膳が遅れるという不手際がありましたが、皆さんがいろいろ助けて下さり何とか終了したことのお礼の言葉がありました。

なお、早稲田祭運営スタッフの支援のお願いには、90,000 円もの金額が集まりました。皆様のご協力に心からお礼申し上げます。

（青山 稔記）

参加者（敬称略）

来賓 国分寺稲門会 清水元 副会長、野部明敬 副会長、真宅康弘 幹事、
東大和稲門会 田原稔彦 会長、東久留米稲門会 安次峰暁 事務局長、
立川稲門会 駕海量良 前会長、故大原康氏夫人 大原貴美子
新入学生 赤木裕昭、藤崎龍博、中村藍子、岩瀬謡有子、古賀彩葉
早稲田祭運営スタッフ 河口みなみ、船津さとみ、老門 晃

クラリネット演奏 渡部まゆみ

会員および家族

青山 稔、赤荻洋一、井垣和太、池田 孝、石塚征雄、市川彰彦、
一色泰久、井手 巖、江藤昌明、大内一男、大森平八郎、同夫人、
岡田一郎、小野浩一、小野 智、風間和夫、木谷 肇、同夫人、
久世利夫、倉田哲也、小亀輝雄、同夫人、小菅 宏、同夫人、
小森敏孝、重原真知子、高鷲 近、滝来京子、滝来洋二、
田島隆夫、月森通夫、土橋雄次、當間昭治、當摩彰子、
戸田志郎、豊田友吉、内藤 慎、長井 治、中村幸宏、
南湖修一、額田伊久夫、野田 直、同夫人、野中昭夫、
福田昇七、同夫人、藤沢博恭、町田和夫、松永常尚、
丸本聡明、森本 吏、守屋幸一郎、山下邦康、同夫人
山下 進、山本岩男、吉澤雅子、吉澤 勇、





○ 平成24年10月 定例役員会

日時 : 平成24年10月6日(土) 13:00～14:30
 場所 : ふるさと歴史館・視聴覚室
 役員会終了後「雑学講座」があります。

○ 第79回雑学講座

日時 : 平成24年10月6日(土) 15:00～16:30
 場所 : ふるさと歴史館・視聴覚室
 講師 : 小林 俊治氏 (会員 S53社会卒 東村山市子ども家庭部長)
 演題 : 「子育てするなら東村山」の実現をめざして

東村山市では、未来の東村山の担い手である子ども達が健やかに成長していけるよう、さまざまな子育て支援策を計画・実施しています。その具体的な取り組みについて、会員であり市の担当部長である小林氏にお話ししていただきます。

☆☆大学関連ニュース☆☆

商議員会 7月7日(土) 早稲田大学 小亀会長・池田幹事出席

▶ 2011年度私大経常費補助金 早稲田大学は103億円

2011年度私立大学等経常費補助金の交付総額は **3393億8112万円**で私立大学560校には **3115億円**が交付されました。1校あたりに換算すると5億6629円で、学生一人当たり16万7千円となります。ちなみに国立大学生には一人あたり266万8千円が使われており私大生とは16倍の格差があります。大学生の7割以上を占めている私大には一層の補助金が望まれます。早稲田大学は特別補助金を含め **103億7千万円**でした。

1 日本大学	104億5千万円	3 慶応大学	98億9千万円
2 早稲田大学	103億7千万円	4 東海大学	70億6千万円

▶ 被災者学生支援

2011年度学費減免受給学生数は183名、総額1億4千万円でした。また「WASEDA サポーターズ倶楽部」への被災学生支援寄付金は3月までに1億6千万円を越え、それを原資とした被災学生支援奨学金の該当者は62名で殆どの学生が複数の学内給付奨学金を受給しています。私達のささやかな寄付金が少しでも役に立っていることは本当に嬉しいことです。

☆ 他稲門会関係

三多摩支部会長会 8月25日(土) 京王クラブ(多摩市) 小亀会長出席

**東村山稲門会第17回総会は11月24日(土)に決定しました
 新しい幹事を募集しています 一緒に楽しい稲門会を作りませんか**

東村山稲門会は平成8年11月に設立されてから、17回目の総会を迎えます。

総会は会員の皆様全員にお集り頂く会で、1年間の活動報告や来年度の活動計画また決算報告など重要な事項を審議、決議する場でもあります。特に今年は役員改選の年にあたります。新しい方に是非とも参加頂きたく、幹事を募集しています。一緒に楽しい稲門会作りをやって頂ける方、是非ご連絡下さい。(042-394-6951 小亀輝雄)

11月24日は是非とも総会の予定を入れて頂きたく、お願い申し上げます。

早稲田祭運営スタッフ河口みなみさんからお礼状が来ました

拝啓 先日は東村山稲門会の納涼会にお招き頂き、誠にありがとうございました。
連れの二人は初めての稲門会への訪問でしたが、皆様が優しく接して下さい、リラックスしてお話が出来とても喜んでおりました。私自身三度目の訪問となりましたが、皆様が覚えて下さり、声をかけて頂き本当に嬉しく思いました。「早稲田」という縁に感謝です。クラリネットの演奏・校歌斉唱と楽しい雰囲気の中で楽しいひと時を過ごすことが出来、夏の良い思い出となりました。早稲田祭のご支援も9万円という大きな額を頂き、本当に感謝申し上げます。皆様のご厚志に答えるため、立派な早稲田祭を開催するため努力したいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

敬具

納涼会にご招待した 大原貴美子さまからお礼状を頂きました

納涼会にご招待頂き感謝申し上げます。元気を頂き、前にすすむ力を頂きました。お仲間にさせて頂き心が和みました。優しさ一杯の稲門会でした。有難うございました。

故番場吉次氏の奥様番場洋子さまからご寄附を頂きました

番場洋子さまから納涼会に多額のご寄附を頂きました。また生前ご本人が購入しておられた清酒2本も頂き1本は国分寺稲門会との麻雀大会に持参し、1本は当会の誕生会で使わせて頂きます。有難うございました。

8月13日お礼を兼ねて小亀会長と當摩副会長が番場家を訪問しお花を供え、ご焼香をさせて頂きました。



「めげない、逃げない、くじけない」

菊田一平（俳人）（S50法）

昨年暮、鎌倉の建長寺で宮城県気仙沼市の片山秀光和尚の「音楽法話」を聴いた。

片山和尚が住職を勤める地福寺は気仙沼湾の入り口に突き出た階上地区というところにある。階上地区は、気仙沼湾の沖に蓋をするような形で位置する周囲22[㍊]の大島を対岸に望み、潮吹き岩の岩井崎や波の穏やかなお伊勢浜海水浴場などを擁した南三陸国定公園のなかでもとりわけ風光明媚な地区だ。

東日本大震災の大津波は、この地区を壊滅的に破壊し、海岸から1[㍊]離れた地福寺まで押し寄せた。寺は災害時の避難指定場所だったが、山門と庫裏は流され、落慶したばかりの本堂の天井まで水が達した。

この津波で気仙沼地域での亡くなったひとの数は1029人、行方不明者は359人。片山和尚の地福寺でも檀家総代を初め151人が亡くなり、なお70人の方が行方不明のままだ。

ここまで被害が大きくなってしまったのは、悪い意味での経験が作用したからに他ならない。たびたびの津波体験が、ここまで波が来ることはないさ、と多くのひとたちを油断させてしまったのだ。

事実東日本大震災の1年前の2月に発生したチリ地震津波では養殖の牡蠣やホタテの被害は甚大だったが、人的被害は全くなかった。

狼が来るぞ、狼が来るぞ！のたびたびの警告が、本当の狼が来たときには多くのひとたちに「どうせまた」の油断の心を植え付けてしまっていた。

明治の大津波や2度の昭和の大津波の記憶が知らず知らずのうちに風化してしまっていたのだ。

片山和尚は、お寺復興のかたわら、「めげない、逃げない、くじけない」と地域のひとたちを励まし、ドラムとキーボードと三味線を従えて、宮城県内はもちろん、遠く、秩父、和歌山、大分の寺々まで出向いて「津波体験、津波の恐ろしさ、津波に対する心構え」を語り続けている。

荘厳な般若心経に乗せて始まる「音楽法話」を聞きながら涙が流れてしかたがなかった。まさに琵琶の音にのせて平家の滅亡を全国通津浦々に伝えた琵琶法師の語りを聴いているように思えた。

〈音楽法話今後の予定〉

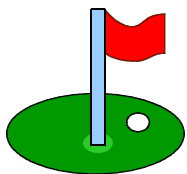
- ・平成24年9月8日（土） 神奈川県横浜市・金龍院
- ・平成24年9月16日（日） 東京都目黒区・目黒区民会館

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ゴルフ同好会

世話人 石川 武 TEL 394-4702



第4回校友会ゴルフ大会 参加者募集

今年も、校友会主催のゴルフ大会が行われます。全国そして海外の校友会の皆さんと、熱気溢れ且つ楽しい交流の場となっております。

我が東村山稲門会は第1回から毎年1組の代表チームを送り込んでいますが、今回は、他地区稲門会と同様、複数チームを送り込みたいものです(2組分の枠を確保しました)。

ぜひとも、皆さんの積極的ご参加を期待しております。

- ◆ 開催日時 : 平成24年11月7日(水)8時スタート
- ◆ 場 所 : 久邇カントリークラブ
飯能市平松470 042-973-1192
- ◆ 競技方法 : ○ 団体戦・個人戦
○ ストロークプレー、新ペリア方式
*各稲門会の交流が目的のため、他地区稲門会3人とプレー
- ◆ 費 用 : ○ 参加費 4,000円(後日世話人へお支払いください)
○ プレーフィー 16,350円(クラブフロントへ)
- ◆ 申し込み期限・方法
: 平成24年9月22日(土)までに世話人まで、お申し込みください。

石川 武 自宅電話 : 042-394-4702

携帯電話 : 090-2320-8171

携帯メール : issy-tk@docomo.ne.jp

*昼間は留守のため、なるべく携帯メールでお願いします。

- 「今年度校友会費未納のため、参加出来ないのでは」とお思いの方、どうぞ御心配無く！
後ほど校友会事務局からチャント納付書が送られてきます！
積極的に、お申し込みください！
- 先着順で受け付けます。募集枠を超過した場合、出場できない方、申し訳ありません！！
- 参加決定者には、10月頃、詳細案内をお送りします。

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

第33回 ウォーキング 「皇居周辺一周」



今回は皇居一周のウォーキングです。靖国神社からスタートして、北の丸公園から東御苑に入り、天主閣跡、本丸跡などを巡り、大手門・二重橋・桜田門・半蔵門を経て千鳥ヶ淵から九段下へ戻る約5キロほどのコースです。事前の予約は不要ですので当日都合のつく方はお気軽にご参加ください。各自おにぎりなど昼食をご持参ください。途中のベンチなどで昼食をとりたいと思います。

日時：9月23日(日)

集合場所と時間：東村山駅高田馬場方面行きホーム中程に9時集合
→ 高田馬場 → 九段下

天気の良い場合は朝8時までに高橋宛、ご確認ください。

パソコン同好会

世話人

小 菅 宏
福 田 昇 七TEL 391-0219
391-9726

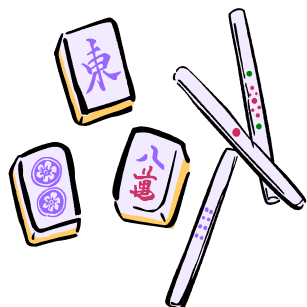
8月4日(土)に「ワード基礎勉強会」、8月18日(土)に「ワード基礎勉強会」と「相談会」を行いました。勉強会は17名が参加されたため、A:パソコンにはじめてチャレンジされる方とB:ご経験のある方の2クラスに分かれて、6名の講師でスタートしました。みなさん熱心に取り組んでおられるので3ヶ月後には、簡単なチラシを自分で作れるようになることを期待しています。

相談会の方には、勉強会には参加されていない方が1名参加されました。いくつもの「お困りごと」をお持ちになりましたが、今回は優先順位の高い3項目をご相談し、解決しました。

今回のように、特定のテーマだけ解決したい方のために、「個別相談会」システム(前払いチケット制)を設けました。別紙「個別相談会開設のお知らせ」をご覧ください。

麻雀同好会

世話人

小 野 智
松 永 常 尚TEL 391-9523
332-5621

(1) 第58回大会
先にお知らせの如く、第58回大会を下記要領にて開催したく、ご案内致します。

記

日時 9月23日(日)
集合 12時30分
開催 13時 (4回戦)
但し全員集まり次第、行います。
場所 麻雀サロン「園」TEL 394-4444
東村山市本町2-1-15 (東村山駅東口 徒歩2分)
会費 4,000円
懇親会 3,000円 大会終了後、希望者のみ「丸藤」にて行います。
締め切り 9月15日(土)
雀卓の都合上、早めにお申し込み下さい。
初めての方も是非お気軽にご参加下さい。

(2) 第2回合同麻雀大会

第2回大会を去る8月19日(日)三千院(国分寺)にて開催しました。総勢16名。今回は東村山勢が個人優勝(土橋氏)も団体戦も圧倒的大差で優勝しまして(第1回2月12日は3位、1位小平)、見事に雪辱を果たすことができました。

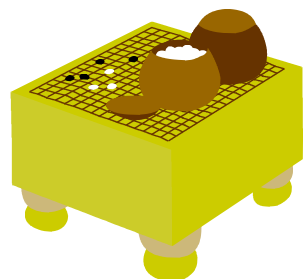
大会終了後の懇親会(希望者のみ13名)では和気藹々の中、話に花が咲き、来年からは年3回開催との申し合わせとなりまして談笑、散会となりました。

出場者 東村山(5人) 池田、小野、小亀、土橋、松永(敬称略)、
国分寺(6人) 小平(5人) 総勢16人

(松永記)

囲碁同好会

世話人

福 田 晃
高 鷲 近TEL 394-0593
394-2336

●8月18日(土)、いつもの市民センター別館第6会議室で囲碁同好会の「例会」が開催されました。当日は遠雷の聞こえる生憎の天候でしたが、9名の会員が駆け付け、いつものように熱い戦いが展開されました。この日の打ちっぷりをみていると、田島さんが一段と強くなられたとの印象を受けました。次回からの活躍が楽しみです。

<参加者/敬称略> 江藤・一色・塩田・高橋(鶴)・高鷲・田島・
中川・福田・丸本

○次回の開催は、10月20日(土)を予定しています。くわしくは次号の「稲門会ニュース」でご案内します。年に2回の「大会」です。奮ってご参加ください。

園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033



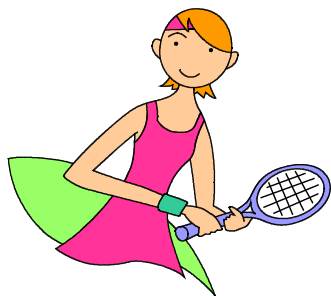
8月24日に、恒例のサギ草の開花株鑑賞会を行いました。今回は猛烈な暑さの中、9名の参加でした。相変わらずの猛暑でなかなか思うように育たなかったり、花芽が上がってこなかったり、また虫にやられたりと、それぞれの苦労話に花が咲きました。さすが藤澤リーダーは見事な開花株をたくさん。ヨシズによる遮光と十分な水やりがポイントのようです。皆さんの意見が一致して人気投票は、1位 土橋さん、2位 當間さん、3位 長井さんとなりました。皆、笑顔で記念撮影に収まりました。

最後に藤澤さんが用意された葉牡丹の苗をみんなで分けさせていただきました。正月の花ですが、今が定植の適期だそうです。正月が待ち遠しい！

次回は秋蒔き草花の苗の交換会です。11月の初旬を予定しております。決まり次第連絡いたしますので、ぜひご参加ください。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



8月の例会は、8月12日（日）、9時～11時 久米川コート3番にて行われた。

暑いさ中であつたが、薄曇りで陽射しが弱かったのは幸いであつた。9名の参加者があり、賑やかに練習試合を行った。

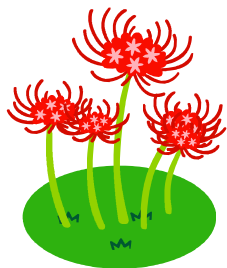
テニスは、練習でも1回に6ゲームをするのが通常であるが、我が同好会は皆が出来るだけ多くプレーが出来る様に1回4ゲームとしている。変則的ではあるが、暑い時など、スタミナの点からも丁度良いような気もする。

以前から、野田さんをコーチに講習会をと話し合っているが、なかなか時間が取れない。10月の合宿の時になりそうである。

参加者(敬称略) 小菅、高橋（一）、滝来（京）、當間、野田夫妻、野村（茂）、福田（昇）、田島

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



山下^{はうん}波雲(進)さん（S29文卒 萩山町）の新加入を得て、第63回「稲酔会」俳句会は、8月25日（土）午後2時から久米川駅前「丸藤」2階で開催されました。波雲さんは、パン業界に携わっておられたことから、俳号をパンー波雲（はうん）と名乗っておられます。強力なメンバーが加わりました。

また、前会長の山下邦康さんが、顔を出され、いつもの句会の様子を見学していただき、句会後の懇親会にお付き合い頂き、参加会員8名（稲雀、和夫、北窓、瑞雄、慎、哲哉、麦穂、波雲）と一緒に、暑気払いの会を大いに盛り上げていただきました。有り難うございました。

句会は投句参加4名（竜湖、糸行、梶、三郎）を含めた12名の58句（兼題は夏の酒一切）について勉強しましたが、8名による互選の結果 最高点句には、

甚平を着て長老の顔となる 三郎

が選ばれました。

次回の第64回「稲酔会」俳句会は、10月27日（土）14:00からです。

兼題は「稲」（早稲田、稲穂、稲の花、早稲、晩稲、稲刈、稲架、稲雀・・・）です

（稲雀 記）



「TPPを考える」

高橋正夫 (S35政経)

賛否両論で国論が二分されてなかなか国としての姿勢が定まらないまま、いったん協議参加を表明したものの、いたずらに時間が経過し、決断できない政府は国際協議にも参加せず、先発国の協議の枠組みにたいして後から不利な条件で加わらざるを得ない状況に追い込まれてきている。このような事態に強い苛立ちを覚え、あえて私見を述べさせていただきたい。

「TPP 亡国論」、[TPP は国を滅ぼす]などの一方で、「TPP 興国論」「TPP で日本は世界一の農業国になる」などの著書もあり、いずれの主張にも首肯する点もあって、なかなか一定方向に収束してゆくことが難しい状況にあることも事実である。しかしながらこれらの論議を通じて、最も重要な命題として、現下の長期低迷から脱却し、国民生活を豊かなものにできる日本の将来の方向性についての基本的な解決策が抜け落ちているように思われる。

一つは日本の国民の生活環境を縛り付けているもろもろの諸規制をどのようにして撤廃、緩和して行けるのかという問題である。これらの諸規制は既得権益にしがみつク政・官・報複合体ががっちりスクラムを組んで強烈に緩和政策を阻んでおり、10年河清を待ってもいささかのくずれも見せていない。これらの諸規制は単に農業だけでなく、医療、教育制度、住の問題その他日常生活の全般にわたっており、TPP のような国際協約によって、規制そのものが否定され、撤廃されない限り実現不可能と思われる。農業においてもいまだJAという世界に類例をみない寄生体が日本の農業の競争力を奪っている。宮城の農家で聞いた話だが、「ひとめぼれ」1俵(60kg)のJAの買取価格は8300円だそう。風評被害とかで最近、店頭で見かけないが、今年の新米予約をネット検索してみると10kg4600円とある。この流通構造の抜本改革が必要だ。日本の政治は生産者保護政策(=票に直結)で減反、個別所得補償という高米価政策を取っており、消費者の利益にまったく反している。流通機構の改革と生産態の集約化、大規模農業の育成にはTPP という絶好の外的環境が必要だ。時代遅れの組織という認識を持っていともいまの政治家はJA解体など恐ろしくて言い出せもしないであろう。

もう一つの重要な問題は、国産という概念についてなぜ農業だけが属地主義にとらわれるのか。日本の車でテレビでも工業製品の多くは海外で生産されて日本で消費されているが消費者はメーカーによって購買しており、例えば中国生産品のテレビでも、一般消費者はソニーのブランドであれば国産品とみなして購入する。日本農業にとって、今の円高は絶好のチャンスだ。カリフォルニアやオーストラリアの広大な土地を買収し、優れた日本の農業技術で米を大規模生産し、関税ゼロで日本に輸入すれば、まずい輸入米を恐れる必要はまったくないだろう。マンハッタンのビルを買収などするよりもはるかに国益にかなうし、そのようなベンチャーの育成に政府は援助すべきである。また日本国内で作られる米は、いくら日本の農業技術が優秀でも、「こしひかり」が代表する豊葦原瑞穂の国、日本の土地で生産されるお米の味には及ばない。これらの高級米は差別化された形で需要されることは疑いない。また流通構造の短縮化と大規模生産化により(兼業農家等の雇用の受け皿になる)、現在の米価は劇的に引き下げられよう。これが消費者主体の政策というものだ。また農政利権を死守する農水省の農業自給率カロリーベース39%のまやかしのマスコミが乗せられ、国民大衆に間違った危機感をいだかせていることも問題だ。自給率も属人主義で見る必要がある。百歩譲って属地主義にたつたとしても、肥料は100%輸入だし、それよりも、もしもイラン紛争が勃発してホルムズ海峡が封鎖されるような事態が起きたら原油の80%強をガルフから輸入している日本は電気も消えて煮炊きもできなくなる。食料自給率というものを農水省の宣伝のように短絡的にとらえてはならないということだ。これからは農業生産の基盤を工業生産と同じように多軸化した供給体制にしてゆくことこそ自給率の向上と安定に結びつく。このような自明の理も、わかっていても実際には実現できないというのが今の選挙制度と利権構造を持った政・官・報複合体の強烈な締め付けであろう。ネット社会の普及によって、情報リテラシーの向上が期待され、色の着いた従来のマスコミ情報にとらわれず、マルチな情報が得られるようになってきている今日、われわれ一般選挙民はマスコミなどの間違った情報に惑わされないように自衛することが重要だ。そこからなにが真実であるかを見極め、真に国益を考える志ある選良を見分けて彼らを国会に送ることが今ほど必要な機会はないと思われる。

TPP への参加を契機とした日本の真の国際化はこれまでの生産者保護の官僚主権国家から、豊かな生活を実現できる消費者主体の国家体制への大転換を促すものであり、国民主権国家としての日本のあるべき道筋をつけることにほかならないと考える。

この実現こそ平成の維新と呼び得るものであろう。

同好会等 短期予定表											
同好会・行事	9月					10月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	23	日	9:00	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		—	—	—	—		江藤 042-391-4076
テニス同好会	2	日	13:00～15:00	久米川コート3		8・9	祝	*	テニス合宿	青梅	田島 042-396-7676
	17	祝	13:00～15:00	久米川コート3	予備日	13	土	13:00～15:00	久米川コート3	予備日	
囲碁同好会	—	—	—	—		20	土	12:30～	市民センター別館		高鷲 042-394-2336
カラオケ同好会	8	土	19:10～	カラオケランドズー		6	土	19:10～	カラオケランドズー		内藤 042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		—	—	—	—		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	23	日	13:00～	イトーヨーカドー隣サロン園		—	—	—	—		小野 042-391-9523
音楽同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		高橋文 042-393-2676
俳句同好会	—	—	—	—		27	土	14:00～	「丸藤」2階		井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	13	木	7:45～	西武園ゴルフ場		—	—	—	—		石川 042-394-4702
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		28	日	11:30～	明治神宮野球場	早慶戦	大内 042-393-6543
パソコン同好会	8	土	10:00～12:00	シルバー人材センター		6	土	10:00～12:00	シルバー人材センター		小菅 042-391-0219
	22	土	10:00～13:00	シルバー人材センター		20	土	10:00～13:00	シルバー人材センター		
雑学講座	—	—	—	—		6	土	15:00～16:30	ふるさと歴史館		當間 042-391-6023
— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。											

編集局だより

○今年も猛暑でした。特に残暑はきびしかった。節電は今や当たり前となりましたし、今年は去年より消費電力量が少なかったとか。電力不足の為に原発を再稼働するというのも本当に必要だったのかと疑いたくもなります。確かに私も去年より節電に努めた一人です。冷蔵庫やエアコンの設定温度を変えるは前からしていましたが、今年はついにエアコンを使用するのを控え扇風機を使うことにしました。三種の神器3Cと呼ばれ、夏にクーラーがあるのが当たり前の生活になったのはそんなに昔の事ではないでしょう。扇風機だけで暑い夏を乗り切る自信はありませんが、エアコンのスイッチを入れるか入れないかの選択はできるわけです。健康を損なわない程度に家電と上手に付き合って行きましょう。電気代の節約にもなるというものです。

○次号の原稿締め切りは9月21日（金）です。よろしく願いいたします。（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

地ビールの旗翻る道の駅山下波雲
泡盛が好きと津軽の女かな小永井哲哉
校庭につゞく渚の大西日音生まる
沢蟹の逃げさせせらぎに高部糸行
冷酒に氷浮かべてゆるり酔い戸田 梟
花裏に風流れ込む秋暑かな
暑苦しサイレンに乗る蝉の声
鳴き急ぐ後なき蝉や真暗闇 慎
求め合い命燃やして舞ふ螢
炎昼や森林公園人気なし丸本 北窓
みんなのクレッシェンドやきみ待つ日
きみのゆく今宵潤める門火かな八木 竜湖
大の字に年子の眠る金魚鉢
テールに三つの鉢や冷奴
（八月号掲句訂正）
誤 夜に廃れ昭和の金魚売りの声
正 世に廃れ昭和の金魚売りの声 栗島 三郎
甚平を着て長老の顔となる
火を焚いて迎える人の一人増え 井垣 稻雀
一本の土管となりて飲むビール
ふらふらとラフより出でし夏帽子 出田 麦穂
ひっそりと紅蓮綻ぶ池の淵
諸肌を脱ぎて柄杓の祭酒 風間 和夫
片蔭を急ぐ僧侶や坂の町 菊田 一平
露地裏にゴーヤの日除け夏の屋
神々の恋の話を生身魂 幸田 瑞雄
酌み交はすジンやビールや星の恋
独り焚く送り火消えて虫の声
遠花火鰻で手酌の留守居かな